

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：与謝野町

プロジェクト名	快適でやすらぎのある生活環境づくりプロジェクト	実施期間	平成23年度～平成29年度	テーマ	まちの安全・安心	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>当町は平成18年3月の3町合併により、新町・与謝野町となった。しかしながら、都市計画、公園・緑地の整備、道路・公共交通網の整備や情報通信基盤整備、上下水道の整備や防犯・安全といった、住民の生活基盤に大きく関わる分野で、旧3町とも整備状況が異なり、一つの町として調和のとれた均衡あるまちづくりを目指すことが課題となっている。</p> <p>また、平成22年度国政調査の人口は23,454人と前回調査より1,452人の減少となっており、今後の人口減少が懸念される中、産業振興と合わせて生活環境整備による定住促進も必要となっている。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>住民の定住を支える「快適で安らぎのある生活環境づくり」を目指して、本町の特性を活かした都市計画の推進、潤いのある暮らしの環境整備、交通ネットワークや情報基盤、上下水道等の整備、安心・安全な地域づくりに取り組む。</p>						
	総事業費（千円）	339,493	本年度事業費（千円）	70,940	交付金額（千円）	17,292	
プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	地域情報通信基盤整備事業	交付対象事業	光ファイバー網の整備と利活用。	新規開通工事142件、Dユニット追加工事97件。			
	河川等水路整備事業	交付対象事業	地区要望による河川等水路整備。	3箇所。			
	阿蘇霊照苑整備事業	交付対象事業	火葬施設の整備。	火葬炉移送装置用インバータ取替工事、斎場外壁塗装工事など。			
	街路灯・防犯灯整備事業	交付対象事業	地区要望による街路灯・防犯灯の新設等。	街路灯等LED336灯。			
	交通安全対策事業	交付対象事業	交通安全対策事業。	カーブミラー新設4箇所。			
	都市下水道管理事業	交付対象事業	都市下水道の管理等。	雨水調整池逆止弁取替工事3箇所。			
	都市公園整備事業	交付対象事業	都市公園の整備。	男山八幡公園公衆便所水洗化工事。			
住民 協働 事業	コミュニティバス運行事業	関連事業	交通の不便な地域での町営バスの運行事業。	平成25年度利用者数6,128人。			
	子ども見守り隊事業	関連事業	地域住民が小学校単位で下校時の見守り活動を行う。	全小学校で実施。			
住民が 取り組む 事業							

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：与謝野町

成果指標 ①	成果指標の目標数値	サイクリングロードの防犯灯設置距離の延長 (H23 : 1.6km⇒H29 : 4.3km)		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	平成25年度2.5km
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	年次計画により毎年一定延長を設置している。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
成果指標 ②	成果指標の目標数値	水洗化率の向上 (H23 : 64.0%⇒H29 : 75.0%)		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	平成25年度66.0%
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	浄化槽地域における浄化槽の普及推進が目標値達成への大きな課題。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
成果指標 ③	成果指標の目標数値	交通事故発生件数の削減 (H23 : 66⇒H29 : 0)		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	平成25年度59件/年
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	各種の活動を行っているが、引き続き取組みを強化し交通事故発生件数の削減に努める。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
成果指標 ④	成果指標の目標数値	犯罪発生件数の削減 (H23 : 100⇒H29 : 0)		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	平成25年度109件/年
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	各種取組を行っているが犯罪発生件数の減に繋がっていない。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果 ※未達成の場合も効果 を記載すること	各種の取組みを行ってはいるものの、短期的な効果としては表れていない。特に犯罪発生件数については増加している。野田川駅舎における被害事案が多いため、駐輪場への防犯カメラ設置等の重点的な方策を検討している。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：与謝野町

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	町の行う環境整備事業だけでなく、関連事業で住民生活にさらに踏み込んだ取組を事業者や住民と協働で行うことができ、快適な地域社会の実現に成果を得られた。
	府と市町村等との連携に資する成果	地域活性化に有効と思われる事業は府と連携して支援にあたった。
	住民の自治意識を高める成果	安心・安全な生活環境整備が、すべての人にとっての快適な生活環境の整備に繋がるので、特に住民が地域において必要であると考える環境整備について、住民の意見や要望を聞き成果をあげることができた。
	リーディング・モデル成果	平成24年度で終了した住宅改修補助事業は他の自治体でも実施例は少なく、住民の生活環境の向上に直接影響を与える実効性の高い事業であった。
	広域的波及成果	合併後にまちまちであった生活環境の整備状況について住民の意見や要望を聞きながら、均衡ある発展を目指し整備を進めている。特に、地域情報通信基盤の整備については未整備地区との格差をなくし、その利便性・有用性を広域的に波及させることができた。
	行財政改革に資する成果	公共施設の改修整備などにより施設の長寿命化を図っている。
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。